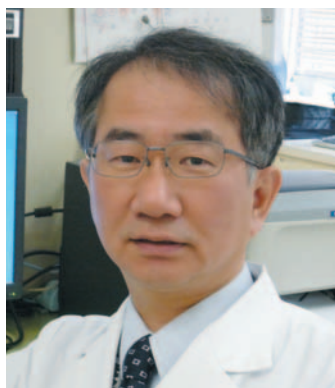


新型インフルエンザ



小児科部長 魚住 友彦

「人からうつされない、うつさない」 努力を徹底的におこなうことが重要

2009年4月にメキシコで突然発生した豚由来の新型インフルエンザは、またたく間に世界中で流行しました。わが国でも、昨年未までに1500万人以上が感染し、100名以上の方が死亡しています。致死率は低いのですが、感染者や重症者は5～9歳をピークに20歳未満が80%以上を占めています。乳幼児や基礎疾患をもつ小児～成人がウイルス性肺炎や脳症を発症し、急速に死亡するケースが増加しているため、社会不安を招いています。

症 状

急激な38℃以上の発熱、咳、のどの痛み、鼻汁、倦怠感、筋肉痛、頭痛、下痢、嘔吐などです。非常に短時間で重症化するケースがあるため、重症化のサイン（呼吸困難、異常に早い呼吸、顔色不良、意識障害など）が認められたら、すみやかに医療機関を受診し、抗ウイルス剤の投与を受ける必要があります。

治 療

タミフルとリレンザが治療に有効です。ウイルスが最も増殖する発症48時間以内に使用する必要があります。小児の解熱剤（熱さまし）はアセトアミノフェンに限られます。成人向けに処方された解熱剤や感冒薬は、小児のインフルエンザ脳症を誘発する可能性があり、注意が必要です。マスクを着用すると感染率は40-70%も低下します。水分を十分に摂りましょう。食事ができない場合や嘔吐が続く場合は、輸液が必要になります。熱が下がっても、2日間は通学や通勤は控えるべきです。



予防接種

新型インフルエンザワクチンは優先順位にしたがって、13歳未満は2回、14歳以上は1回接種されます。基礎疾患を有する方は、医師の判断で2回接種する場合があります。妊婦の方はチメロサルという添加物が含まれてないワクチンを1回接種します。予防接種をしたからといって、必ず感染しないわけではありません。季節性インフルエンザの予防接種をする場合は、季節性と新型の接種間隔は6日以上あけます。

現在では抗ウイルス剤や予防接種といった強力な武器がありますが、それでも幼少児、妊婦、基礎疾患をお持ちの患者さんは重症化する危険性があります。一人ひとりが予防策をとり、「人からうつされない」と同時に「人にうつさない」努力を徹底的におこなうことが重要です。



とんには号外!

インフルエンザ特集

Part 2

救急ナースのFIRST AID

救急ナース
古賀 由美



インフルエンザかもしれない?

…と思ったときは、かかりつけ医、または最寄りの医療機関に受診しましょう。受診する際は、事前に医療機関へ電話をし、受診方法や到着時の連絡方法など確認し、患者・家族は必ずマスクを着用しましょう。慢性疾患(慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、糖尿病などの代謝性疾患、腎機能障害、免疫不全など)をお持ちの方、妊婦、幼児、高齢者の方は、新型インフルエンザ感染により重症になる可能性が高い方です。症状が悪化すれば入院治療の可能性もできます。

インフルエンザにかかったら…

- 処方されたお薬は指示どおりに最後まで飲む
- 常時、マスクを着用する
- せきエチケットを守る
- 水分補給と十分な栄養・睡眠をとるよう心がける
- 感染拡大を防止するために、症状が始まった日の翌日から7日目まで、または熱が下がった日から48時間を経過するまでの期間は、外出を避け自宅ゆっくり療養する

家族がインフルエンザにかかったら…

- 家の中でも、お互いにマスクをし、こまめなうがい・手洗いを心がける
- ときどき、部屋の空気を入れかえる
- 部屋の湿度を適度(50~60%)に保ち、乾燥をさける
- 他の家族とは別の部屋で過ごす
食事のときも、マスクをはずすので別の部屋にする
- 世話をする人は、1人に限定する

予防方法

- ① 手洗いは最低15秒するようにしましょう
- ② 外出時や人混みではマスクをつけましょう
- ③ 帰宅時は必ず手洗い・うがいをしましょう



せきエチケット

- ① せき・くしゃみをするときは、ティッシュで口と鼻をおおきましょう
- ② 使用したティッシュはゴミ箱へ
- ③ せきがでるときは、マスクをしましょう
- ④ せき・くしゃみのあとは、すぐに手洗いをしましょう

